

■東京リライフグループを構成する3つの要素

分析 / 研究 東京リライフ×東京大学

世界の最先端研究を行う、東京大学との共同研究講座を開設

世界中の研究機関で進められている最先端の基礎研究を、患者様へ治療できるレベルに具体化するため、東京大学との寄付講座※を設立。研究から臨床、臨床から研究の循環を世界最速で発展させることを目的とした“超実践型”の研究チームを発足しました。 ※東京大学大学院理学系研究科「細胞老化制御」の寄付講座

臨床(診察 / 治療) 東京リライフクリニック

細胞レベルの若返りを実現する、ここでしか受けられない治療プラン

ヘルスケア領域の医療ではこれまで主流を占めていた、経験則や主観に基づいた治療計画ではなく、細胞レベルのデータを計測する究極の“不老長寿”※クリニック。10年後、20年後も、今と同じ見た目、肉体年齢を目指す再生医療を実現します。 ※不老(見た目、美容医療+再生医療)、長寿(健康、再生医療+分子栄養学等)

細胞培養 / 検査 東京リライフラボラトリー

投与前の細胞の品質を、遺伝子レベルで提示

厳格な衛生管理基準に則った日本最高レベルの細胞培養ラボラトリー。また、クリニックには“エピジェネティッククロック検査”※のシステムを導入。さらに、患者様へ投与する前に、細胞を遺伝子レベルで評価・解析するなど、世界唯一のサービスを提供します。

※DNAのメチル化などのエピジェネティックな変化を測定して、細胞の老化の進行度を示す指標。

■東京リライフクリニックのCPCの特徴 (ICRC※)

細胞培養加工施設 (CPC: Cell Processing Center) は、様々な最先端機器を備えた無菌環境の施設です。細菌やウイルスの汚染を防止し、再生医療や細胞治療に使用される細胞を安全にかつ高品質に加工・培養することを可能にします。

※ Innovative Cellular research and Regenerative therapy Center (ICRC) : 細胞イノベーション研究・再生療法センター

ICRC / 特別なCPC

東京リライフクリニック (TRC) のCPC (ICRC) は、クリニック (臨床施設)・細胞加工培養所 (技術)・最先端のラボ (研究機関) が併設された、日本最大規模・最高品質の再生医療グループです。ひとつの建物・ひとつの組織に全てを集約し内製化する事で、TRCの独自技術となる最先端の研究を自施設で迅速に推進することが可能となりました。

さらに、東京大学をはじめとする世界中の一流の学術機関や医療機関と提携することで、最新の技術や最先端の研究を臨床応用します。

TRCの治療は、高度なエビデンス検証とイノベーションに基づいて行われ、最先端の治療を提供することが可能です。

CPCの可視化により安心を提供

日本で再生医療を提供するクリニックの多くは、一般的に「細胞の採取のみを院内で行い、細胞の培養自体は外部のラボに委託する＝外注型」と、「細胞の採取から培養、投与までを一括してクリニック内で行う＝内製型」の2つがあります。外注型のデメリットは、届いた細胞の状況を見ながらその細胞に最適な培養を行うオーダーメイドのような個別の対応を行う事が難しく、培養した細胞のクオリティに大きな差が生まれてしまう場合が多いという点です。一方、院内に内製化されたCPCの問題点は、独自技術や患者様から採取した細胞の状況によってオーダーメイドの質が高い治療を行える可能性がある反面、外部からの施設や技術のチェックが行われないので、その技術レベルや安全性を客観的に評価する事が難しいという点が挙げられます。TRCでは、院内CPCにおいて全ての培養作業を可視化・記録する体制を整えております。患者様や外部の技術者の方にもTRCがどのような安全管理や独自技術で良質な細胞を培養できているのかをご確認いただくことが可能です。



研究機関と臨床施設を CPC に併設するメリット

患者様の負担を軽減

外部の細胞加工施設で細胞培養する場合、搬送中の細胞死や機能低下が避けられず、組織や血液を余分に採取する必要があります。そのため、時間的・肉体的な患者様への負担も大きくなります。TRC では、臨床施設と CPC の併設による密な連携によって、患者様から採取する細胞（約 0.1～5 g）や血液の量（約 20～40mL）を最小限に抑えることで施術時間を短縮し、患者様への負担を減らしています。また、徹底的なコストを削減により、ユニークで高品質な治療を患者様へ適正な価格で提供します。



迅速な品質検査

通常、細胞製品の品質および安全性の検査には約 2 週間かかり、多くの施設では細胞を凍結し、投与前に解凍する必要があります。TRC では、院内検査施設と独自の検査方法を導入しており、迅速な品質検査が可能です。凍結することなく新鮮な培養細胞をそのまま投与することで細胞の活性を最大限に保つことができます。



フレッシュな生細胞投与による治療効果の向上

投与日時に合わせた培養方法により、解凍細胞ではない生細胞を提供します。これにより、患者様は治療効果が最大化された細胞を使用した治療を受けることができ、採取から投与まで最短で 1 ヶ月程度という短い期間での投与が可能となります。



細胞長期保管サービス

将来の治療に備え、細胞の長期保存を可能とする低温保存技術を提供します。

技術

TRC では高度に管理された CPC で、厳格な衛生管理基準に則り、安全性を担保した高品質の細胞を培養し、幹細胞の品質と活性を最大限に引き出すことで画期的な治療を実現

細胞クリーニング

TRC では、より高い効果と体感を出すために、幹細胞の推奨投与数を 2.5 億個に設定しています。(お試しの 1.3 億個プランもあり) 一般的には 2 億個を超える細胞を投与する場合「多量の細胞を投与すると、細胞同士が凝集し肺塞栓を起こしやすい」と懸念がありました。TRC では、細胞の増殖加工処理後に細胞ひとつひとつを分散させてクリーニングを行います。こうすることで、細胞表面に吸着した無駄な物質を外し、流れるような状態で幹細胞点滴を提供し、限りなく肺塞栓のリスクを抑える事に成功しました。

最適化された細胞培養システム

通常、採取した脂肪組織を酵素処理し培養していきませんが、TRC では出来るだけ身体の中と同じ環境で細胞を培養するために、採取した脂肪組織の状態を見極めて酵素処理をせずに培養します。この方法はとても高度な技術が必要な培養方法ですが、細胞にストレスを与えることなく元気な細胞を育てることが可能になります。また、生細胞での投与は、投与日時に合わせて希望細胞数まで培養して迅速に患者様へお届けする TRC の特徴の一つです。

高品質な培養環境

TRC では最先端の培養環境を採用しており、使用する試薬は GMP グレードのものを使用し、培地においては動物由来成分が含まれていない AOF (Animal Origin Free) を使用して細胞を培養します。動物由来成分の使用を排除することで、幹細胞の安全性と純度を向上させるとともに、免疫反応や汚染のリスクを低減しています。

安全性への配慮

TRC の細胞加工センター (CPC) では、当院で使用するすべての幹細胞が安全かつ高い治療効果があること保証するために、厳密な品質チェックを実施

安全性試験

高度な分析手法を使用し、エンドトキシン試験、マイコプラズマ否定試験、無菌試験を行います。これにより、臨床使用における最高レベルの無菌性と安全性を担保しています。

生存率と機能の評価

培養した細胞の生存率と機能を評価し、活性が確認された健康な細胞を施術に用いることで、所定の治療効果を保証します。

無菌試験

培養法や迅速検出法を含む包括的な無菌試験を実施し、細胞が最も厳格な無菌基準を満たしていることを確認します。

一貫した品質

各種分析によって細胞の数量と活性を厳密にチェックし、一貫した品質を保証することで、信頼性の高い細胞療法を提供します。

■治療メニュー概要（一部）

10年後、20年後も今の「自分」である為に。検査結果を確認しながら、確実に結果を出すプログラムを提供します。

【再生医療(細胞療法)】 脂肪由来幹細胞／線維芽細胞／NK細胞

【再生医療(非細胞療法)】 幹細胞培養上清液／PRP

【美容医療】 水光注射

【予防医療】 疲労回復注射／高濃度ビタミンC点滴

東京リライフクリニックが試みる日本初の研究

TRCでは、2024年12月23日、総院長石川正志をはじめ、外部有識者および東京リライフクリニック専任スタッフで構成された「臨床研究等倫理審査委員会」を開催。幹細胞上清液やエクソソームは、広く臨床現場で使用されているにも関わらず、それらの有効性や安全性について、科学的に証明されたと言い難いのが現状であります。

この度、無事に委員会の承認が得られたため、安全性臨床研究に同意が得られた患者様60名を対象に、2025年1月より随時臨床検査を開始し、その結果は2025年6月を目途にご報告する予定です。

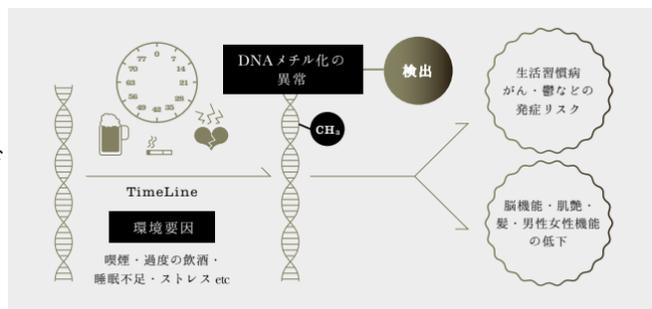
【研究名称】

「皮膚美容における各種上清液の有効性と安全性の検証に関する前向き二重盲検試験」

「不定愁訴を有する患者に対する幹細胞由来上清液およびエクソソームの有効性と安全性の検証」

エピジェネティッククロック検査

従来の「老化抑制」医療における最大の課題は、治療を行った後にその治療で実際に効果が出たのかどうかを患者様が客観的に知る術が無かったというところです。東京リライフクリニックでは、「エピジェネティッククロック検査（生物学的年齢の測定）」を導入。これにより、患者様は東京リライフクリニックの医師、研究者、カウンセラーなどの専門家と緊密に連携をしながら、実際にその治療で若返りや機能回復に効果が出ているのかどうかを知りながら次の治療計画や生活改善に活用いただけます。



■最高峰の技術総監修医師チーム



総院長
【抗加齢医療】
石川 正志 医師

徳島大学医学部を卒業後、同大学院で医学博士号を取得。国内の研究機関や国立病院のほか、オーストラリア、ベトナム、上海など海外の医療機関で豊富な経験を積む。これまでに、徳島大学臨床教授や愛媛大学臨床教授などの重要なポストを歴任し、再生医療分野や肝臓移植、肝胆膵外科に関連する研究で顕著な成果を上げています。日本抗加齢医学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本外科学会専門医、日本肝臓学会専門医など数々の専門医・指導医資格を保有し、日本医学界のトップランナーとして長年に渡り活躍。その専門性は国際的にも高く評価され、THE SECOND CONGRESS OF THE INTERNATIONAL SOCIETY FOR EXPERIMENTAL MICROSURGERY での BRONZE PRIZE 受賞や、THE 1996 C. WILLIAM HALL OUTSTANDING PUBLICATION AWARD など、数々の受賞歴を誇る。



最高顧問
【再生医療】
高戸 毅 医師

東京大学医学部医学科を卒業後、同大学院で医学博士号を取得。国内外の医療機関で豊富な経験を積む。専門は口腔外科学、形成外科学。元東京大学大学院医学系研究科外科学専攻感覚・運動機能医学講座口腔顎顔面外科学教授。元同医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部部長（兼任）。元同医学部附属病院22世紀医療センター長（兼任）。現 JR 東京総合病院院長。歯科口腔外科、形成外科部長。日本再生医療学会理事。カナダおよび米国での臨床経験・技術を本邦へ導入、自身による新たな術式も多数開発。形成外科・美容外科の専門家として長年活躍する。近年では再生医療の研究とその臨床応用に注力し国内外で高い評価を受けている。日本再生医療学会副理事長を歴任。日本再生医療学会功績賞受賞。



最高顧問
【美容医療】
古山 登隆 医師

日本の大学病院における“美容外科”を本格的にスタートさせ、美容医療をリードしてきた業界のバイオニア的存在。“メスを使わない若返り治療”を得意とし、特にボトックスやヒアルロン酸注入、糸によるたるみ治療は国際的にも高い評価を得ており、注入指導医のヘッド・ファカルティとして国内外の美容医療の発展に貢献している。

北里大学医学部卒業
1981年北里大学医学部形成外科入局
1985年チーフレジデント
1987年北里大学形成外科研究員
医学博士取得[コラーゲン薄膜を用いた培養皮膚モデルの形態学的評価]
1988年北里大学形成外科講師
1995年自由が丘クリニック開設
2019年国立大学法人千葉大学医学部形成外科非常勤講師

■東京リライフラボラトリー／最高峰の研究チーム

TRC には細胞生物学者、再生医療認定医、品質管理専門家が在籍。すべての医師や専門家は、高度な資格と専門的なトレーニングを修了しており、世界基準を満たしたケアを実現します。



細胞イノベーション研究・再生療法センター センター長
医学博士 ドスカリ・マーレン 博士

母国のカザフスタンでは、肝臓外科医として移植手術などでも活躍。細胞免疫療法、革新的な治療法の開発においては 15 年以上の専門知識と技術背景を有しています。現在、東京リライフクリニックの細胞イノベーション研究・再生療法センターのセンター長を務め、細胞加工センター部門と細胞イノベーション研究部門の 2 つの重要な部門を統括。再生医療および細胞研究分野における卓越したリーダーとしてチームをけん引します。



細胞イノベーション研究部門長
臨床検査技師・医学博士 篠原 義康 博士

臨床検査技師、医学博士。アカデミア、ライフサイエンス企業、バイオテック企業で 20 年以上のキャリアを重ね、細胞生物学はじめとして遺伝子検査、再生医療など幅広い研究経験を積む。TRC では細胞イノベーション研究部門の部門長として、世界最先端の学術研究と臨床応用の橋渡しを行っていきます。また、細胞製造や検査技術のブラッシュアップと共に、TRC から世界へ TRC で行われた研究の成果を学会発表や論文を通して発信していきます。

■銀座エリア最大級の CPC 施設 「禅」発想のフロア

「禅の緊張感」と「細部へのこだわり」を表現した空間演出。当クリニックは、世界中のデザインコンテストで数々の賞を受賞してきた「株式会社トライアングル」のトップデザイナーによる全面監修のもと、「禅の緊張感」と「細部へのこだわり」をコンセプトに、訪れたすべての人が心より満たされる空間を実現。特に最上階のリプログラミング(若返り)エリアは、メディアにも非公開の場所として、会員様だけがご覧いただける唯一無二の空間です。

6F 研究

TRC の CPC 施設は最先端の技術で設計された最新鋭のラボ



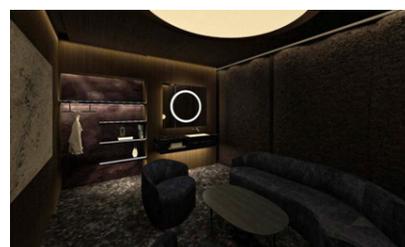
7F 向上

パフォーマンス（能力）の向上、回復、維持をサポート



8F 会員限定フロア

細胞レベルのリプログラミングを行うプレミアムフロア
※会員限定



<本資料に関する報道関係者の方からのお問い合わせ・取材依頼>
東京リライフクリニック PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：増賀（080-7954-0846）小林（090-6482-2257）齋藤、鶴菌
MAIL：tokyo_relife_clinic@ssu.co.jp